

大学と地方政治の 連携基盤構築を 目指す研究会



EBPMを活用。産官学金体制で「次世代スマートリージョン」を実現！

地方議員
のための
勉強会

第一回

目指すべき「次世代スマートリージョンとは？」

本研究会の大学側代表・佐無田先生による研究会全体の狙いの説明の他、持続可能な地域経済・財政を検討するため、地域経済・社会・財政を数字で見て、県内・北陸の事例を示しながら、比較検討を行います。

2021年 (令和3) **11月30日[火]** 会場：金沢勤労者プラザ
金沢市北安江3-2-20 4階・405研修室

第一部 10:00~12:00

内容：「EBPMの活用」

本研究会の大学側代表による、全体のガイダンス。
EBPM (Evidence-based Policy Making エビデンスに基づく政策立案) を活用した「次世代スマートリージョン」の実現により、地域社会の課題解決実現を目指す狙い。

講師



佐無田 光 (さむた ひかる)

金沢大学人間社会研究域教授
先端観光科学研究センター長

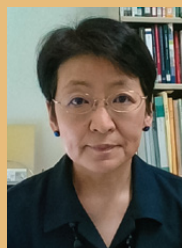
博士（経済学）。専門は地球経済学。研究テーマ：サステナブルな地域発展。
主な著作：『きみのまちに未来はあるか？』（共著、2020年）、『地域包括ケアとエリアマネジメント』（共編著、2019年）、『北陸地域経済学』（共編著、2007年）など。

第二部 13:00~15:00

内容：「自治体の財政分析」

財政は自治体の活動の基本。自治体が独自に行う財政データの公表のあり方、住民に対する公開の在り方について、さらには研究者向けのデータ提供によって可能になる事とは何かを語る。

講師



武田 公子 (たけだ きみこ)

金沢大学経済学経営学系教授

専門は地方財政論。主な単著として、『地域戦略と自治体行財政』（世界思想社、2011年）、『ドイツ・ハルツ改革における政府間行財政関係』（法律文化社、2016年）、『データベースで読み解く自治体財政』（自治体研究者、2018年）など。

EBPMを活用。産官学金体制で「次世代スマートリージョン」を実現！

行政機関の仕事のあるべき姿に立ち返るための仕組みとして、今期待されているのが「EBPM」です。行政機関においては、民意によって選ばれた議員の声やさまざまなアンケートの結果、有識者の意見を参考にしながら、何らかの根拠に基づいて政策を立案・実行していました。エビデンスとなるデータを集めようにも、予算や資源、人材の面で限界がありました。しかし近年、ビックデータや人口知能AIの活用により膨大なデータから一見見えにくい傾向の抽出が可能になりました。さらに、SNSやネット上の膨大な情報やIOTを活用し、実社会の克明な動きを把握することも可能となりました。EBPMは、ICTが急激に進化したからこそ、実践できるようになった考え方だといえます。

このEBPMの基盤となる様々なデータや最新技術に関して、大学教員と情報交換を行い、地域の産官学金連携体制の構築や、未来につながる社会実験を、地方議員による政治主導で推進し、制度化・政策化を実現していくため、本研究会を企画・開催します。

第一回

目指すべき「次世代スマートリージョンとは？」

2021年(令和3)11月30日[火] 第一部10:00~12:00/第二部13:00~15:00

金沢勤労者プラザ 金沢市北安江3-2-20 4階 405研修室 TEL.076-221-7771

対象：県会議員・市町村議員30~50名程度

参加費：15,000円(1部・1講座あたり/税込) ※午前・午後どちらの部にもご参加の場合30,000円

メールにてお申し込み頂くか、以下申込書に必要事項をご記入いただき、FAXにてご送信ください

参加部会	✓をご記入ください	
	<input type="checkbox"/> 第一部「EBPM の活用」	<input type="checkbox"/> 第二部「自治体の財政分析」
所属 (議会名・会派名など)		
氏名	ふりがな	
住所	〒	
電話番号 (携帯電話)	FAX 番号	
e-mail	日常的に受信できるPCアドレス	
領収証の要・不要	<input type="checkbox"/> 必要 宛名▶議会名・会派・氏名・その他() <input type="checkbox"/> 不要	

※ご記入頂きました個人情報は、本事業の実施・運営にのみ利用いたします。

参加お申し込み先
FAX:076-298-8904

labo@r-sr.co.jp

Facebook
@regionalrevital

